

# 『本屋大賞』創設メンバーが語る 「出版界」に貢献する醍醐味



出版は現場の想いや夢が周囲を動かし、社会に大きな話題を提供するようなことが叶いやすい業界です。時には組織や会社、業界の壁を超えたプロジェクトに発展していくなど、その自由な風土も出版業界の良いところです。

本屋大賞もそうでした。大賞受賞作が毎年話題となり、いまでこそ「作家が一番とりたい賞」などと言われていますが、もともとは現場の書店員さんたちの「自分たちが選ぶ文学賞を作りたい！」という熱い想いだけでスタートしました。しかも運営メンバーは書店員、広告会社社員、書評雑誌営業と、文藝系の出版社とは畑違いの者ばかり。それがどうしてここまで大きな賞となったのか。創設から関わってきた3人が、誕生から現在までの苦労話も含めてお話しします。

また出版業界の魅力やこれからの出版界に来てほしい人物像、どんな人が入ってから活躍するかなどなど、本屋大賞の14年間を通じて数々の出版社と関わってきた3人だからこそお話しできるここだけの話もご披露したい、と思います。

我々も意欲ある学生さんたちとの出会いを楽しみにしています。

## ◆ 開催要項 ◆

- 主催：一般財団法人 日本出版クラブ  
 会場：日本出版クラブ会館 3階会議室「鳳凰の間」  
 新宿区袋町6番地（都営大江戸線「牛込神楽坂駅」A2出口徒歩2分）
- 参加対象：出版業界に就職を希望する大学生、大学院生  
 開催日時：2017年11月14日（火）14:00~17:00（受付開始13:30）  
 参加費：セミナー 1,000円 懇親会 1,500円（当日支払）  
 定員：100名 先着順 参加決定者のみメールでお知らせします

### 【第1部】本屋大賞はこうして作られた 14:00~15:20

- ・誕生秘話～現場の想いから生まれた横断的プロジェクト。
- ・本屋大賞がきっかけとなって生まれたいろいろな賞。
- ・本屋大賞の立ち上げ時と、現在と、これから。
- ・本屋大賞と芥川・直木賞との相違
- ・本屋大賞が確固たる地位を獲得したトリガーは？
- ・質疑応答

### 【第2部】出版業界への入り方 15:30~17:00

- ・出版社、こんな学生に来てほしい。
- ・出版業界への潜り込み方。
- ・「いまはこの出版社が面白い！」。外から見た出版社のあれこれ。
- ・出版社の未来～出版は可能性に満ちている。
- ・質疑応答

### 講師と受講生の懇親会 17:00~18:30

この講座には現役出版人も多数参加します。リアルタイムの業界研究に役立つ貴重な場です。

- ※予告無く内容に変更が生じる場合がございます。
- ※普段着にてご参加ください。
- ※当講座は各社採用選考とは一切関係ありません。予めご了承の上ご参加ください。

## 講師 本屋大賞実行委員

**杉江 由次** 本の雑誌社取締役営業部長  
本屋大賞実行委員会理事

1971年埼玉県生まれ。1997年に歯科専門出版社・クインテッセンス出版より本の雑誌社へ転職。以来、たったひとりの営業マンとして、日本各地の書店を訪問。後に書店員さんの声を集め、本屋大賞設立に関わる。

**内田 剛** 三省堂書店営業企画室課長  
本屋大賞実行委員会理事

1991年三省堂書店入社。神田本店（現神保町本店）、都庁店、そごう千葉店、成城店、神保町本店などを経て、2015年4月より現職。POP作成を趣味としてこれまでに書いたPOPは3000枚以上。著作に『POP王の本！』（新風舎/絶版）があり、最近では学校や図書館でのPOP講習会なども行っている。

**中野 雄一** 博報堂第四計画管理室長  
本屋大賞実行委員会理事

1984年博報堂入社以来30年以上出版・映画・ゲーム等コンテンツのプロモーション、コンテンツ出資、プロデュースを担当。出版・コンテンツビジネス局長代理を経て現在は第四計画管理室長。雑誌『旬がまるごと』の創刊、WEB本の雑誌や本のフェスの立ち上げにも参加。



## ◆ 参加申込受付 ◆

- ① 学校名
- ② 学部・学科
- ③ 学年
- ④ 氏名・フリガナ
- ⑤ 連絡先メールアドレス
- ⑥ 就職を希望する職種  
(例 児童図書編集部)
- ⑦ 懇親会参加の有無

以上を明記して、下記担当宛にメール送信してください。

## ■ 問合せ先

一般財団法人 日本出版クラブ セミナー係 担当/杉山 sugiyama@shuppan-club.jp

TEL 03 (3260) 5271 FAX 03 (3267) 6095